

No. 389
2003年
12月

OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル3階
電話(03)3815-3351 代 Fax(03)3815-3352
http://www.orsj.or.jp/

●平成 16～17 年度役員・代議員候補者推薦のお願い

定款に従って平成 16, 17 両年度の役員・代議員の選出を行います。スケジュールは次の通りです。

- 平成 16 年 1 月 31 日(必着) 候補者推薦締切。
- 2 月 20 日～3 月 20 日 会員の書面による投票。
- 3 月末日 開票(予定)。
- 来年度総会において承認の予定。

つきましては、以下により候補者の推薦をお願いいたします。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 監事 平尾信正, 古林 隆

役員候補者

- 1 役員(理事・監事)候補者については本人の同意を得たうえで、正会員または名誉会員 5 名以上が候補者の略歴をつけて、推薦する(下記の書式に従ってください)。
- 2 役員候補者は名誉会員または個人正会員でなければならない。
- 3 理事は会務の分担ごとに選挙するので、分担を明示すること。今回選出する理事の会務分担および定数は次の通りとする。
副会長 1 名 庶務 1 名 研究普及 1 名 編集 1 名 会計 1 名 無任所 3 名(支部所属者 1 名)
- 4 監事の改選数は 1 名。

..... 切 り 取 り 線

平成 年 月 日

役員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

平成 16～17 年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

- 副会長 庶務理事 研究普及理事 編集理事 会計 無任所理事
- 監事として

_____ 氏を推薦いたします。

推薦者(正会員または名誉会員 5 名以上)

(代表者) 氏名 _____ (所属: _____)

_____ (印) _____ (印) _____ (印)

_____ (印) _____ (印) _____ (印)

候補者略歴(18 字×6 行以内)

上記の推薦に同意します。氏名 _____ (所属: _____)

代議員候補者

代議員候補者には定款細則第20条により、①5名以上の正会員または名誉会員の推薦を受けた者と②理事会の推薦を受けた者とがあります。本件は、①に該当する候補者の推薦を以下の条件に則り、お願いいたします。

- 1 代議員の候補者については、正会員または名誉会員5名以上が推薦する（下記の書式に従ってください）。
- 2 代議員候補者は、正会員を5年以上経験した者でなければならない。
- 3 代議員は役員をかねることはできない。

..... 切 り 取 り 線
 平成 年 月 日

代議員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿
 平成16~17年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の代議員として
 _____ 氏を推薦いたします。

推薦者（正会員および名誉会員5名以上）

(代表者) 氏名 _____ ㊞ (所属: _____)

_____ ㊞	_____ ㊞
_____ ㊞	_____ ㊞
_____ ㊞	_____ ㊞

● 日本 OR 学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年 OR 学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞を除き、平成16年1月7日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事務局宛にご請求ください。なお、5賞の概要は次のとおりです。

〔文献賞〕 大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

1. 論文は独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与するものであること。
2. 論文はOR学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年（原則として、15年の1月1日より12月末日までに発行されたものをいう）に発表された論文であること。

3. 被推薦者はOR学会員で、年齢は原則として40歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

〔実施賞〕 ORの実施を強く推進してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。最近の5年間では、(株)ゼクセル技術本部、(株)数理システム、日本ガイシ(株)開発センター、三菱重工業(株)高砂研究所、日本IBM(株)東京基礎研究所が受賞しています。

〔普及賞〕 ORの普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。最近の5年間では、権藤元、牧野都治、海辺不二雄、小笠原 暁、青沼龍雄、松井知己、伊倉義郎、平尾信正、久保幹雄、高井英造の各氏が受賞しています。

〔事例研究賞〕 学会員の行ったすぐれた事例研究に対して贈られます。学会員個人に限らず、学会員を含むグループも対象になります。事例研究は、原則として学会誌、学会の大会等、本学会において発表されたものといたします。

また、事例研究の対象としては、ORの教育・実務において広く学会員に役立つソフトウェアの開発も含まれます。但し、学会誌、学会の大会等、本学会において発表またはデモンストレーションされたものに限ります。なお、ソフトウェアの開発の場合は、そのソフトウェアの本体あるいはサブセット版（機能限定等）が無償で学会員に提供されることが前提になりますが、本体が市販される目的で開発されたかどうかは問いません。

〔学生論文賞〕 学生による優れたORに関するすぐれた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。

応募締切は平成16年3月31日といたしますが、詳しい募集要領は、OR誌2月号に掲載します。

(表彰委員会)

● 第51回シンポジウム

日 程：2004年3月16日(火) 13:00～

場 所：早稲田大学本部キャンパス

実行委員長：船木由喜彦（早稲田大学）

テーマ：「ゲーム理論と離散数学の出会い」

問合せ先：

早稲田大学政治経済学部（新宿区西早稲田1-6-1）

船木由喜彦 E-mail: funaki@waseda.jp

Tel.03(5286)9721 Fax.03(5286)9721

● 2004年春季研究発表会

日 程：2004年3月17日(水)、18日(木)

場 所：早稲田大学理工学部

実行委員長：森戸 晋（早稲田大学）

特別テーマ：

「ニッポン再生：ORからの処方箋」

発表申込締切：2004年1月23日(金)

申込はメールで受け付けます。詳細は研究発表会のホームページをご覧ください。

URL: <http://www.socs.waseda.ac.jp/orsj/>

問い合わせ先：

E-mail: or2004spring@socs.waseda.ac.jp

● 平成16年秋季研究発表会

日 程：平成16年9月8日(水)研究発表会、懇親会
9日(木)研究発表会、10日(金)見学会(予定)

場 所：東北大学川内キャンパス（仙台市青葉区川

内)

実行委員長：石川明彦（岩手大学）

問合せ先：鈴木賢一（東北大学大学院経済学研究科）

Tel/Fax.022(217)6281

E-mail: ksuzuki@econ.tohoku.ac.jp

● 日本OR学会本部主催中部支部定例講演会

日 時：12月11日(木) 16:00～18:00

場 所：中部品質管理協会 第1研修室

主 催：(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会

共 催：日本OR学会中部支部

テーマと講師：

「システム設計における安全性の一側面」

長谷川利治（南山大学教授・前日本OR学会会長）

問合せ先：中部支部事務局 安田照美

Tel.052(581)9841

● 国際会議案内

・「EURO XX」

ヨーロッパ地域の国際OR学会連合EURO (the Association of European Operational Research Societies) が開催しているEURO国際会議が20回記念大会(20th European Conference on Operational Research)となりました。今回はギリシアOR学会がホスト国となり、神話の島ロードス島で開催です。皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

日 程：2004年7月4日～7日

場 所：Rhodes, Greece

テーマ：OR and the management of electronic services

主 催：ギリシアOR学会 (HELORS)

アブストラクト締切：2004年1月15日

問合せ先：ysiskos@unipi.gr

* 詳しくは、www.Euro-rhodes2004.org をご覧ください。

● 研究部会・グループ開催案内

〔不確実性下のモデル分析とその応用〕

・第12回

日 時：12月13日(土) 14:00～17:00

場 所：九州大学経済学部2階中会議室

テーマと講師：

(1)「遺伝的プログラミングによるオークション入札戦略の決定と非最適行動」

池田欽一 (信州大学経済学部)

(2)「PSA (確率論的安全評価) の手法を用いたビジネスリスクの包括的評価」

内山 章 (九州電力株式会社・経営管理室・管理制度グループ)

問合せ先: 九州大学大学院経済学研究院 時永祥三
Tel/Fax. 092(642)2466

E-mail: tokinaga@en.kyushu-u.ac.jp

〔待ち行列〕

・第 175 回

日 時: 12 月 20 日(土) 14:00~16:30

場 所: 東京工業大学西 8 号館(W)809 号室

テーマと講師:

(1)「待ち行列の最適制御について—いつ並ぶべきか—」
小柳淳二 (鳥取大学)

(2)「PH distributions with non-distinct eigenvalues」
紀 一誠 (神奈川大学)

問合せ先: 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 笠原正治 Tel.0743(72)5351

E-mail: kasahara@is.aist-nara.ac.jp

〔評価の OR〕

・第 5 回

日 時: 12 月 20 日(土) 14:00~17:00 (いつもより 30 分遅く開催)

場 所: 政策研究大学院大学 3 階教室 E (新宿区若松町 2-2)

都営新宿線あけぼの橋下車, 徒歩 10 分 (あるいは, 都営地下鉄・大江戸線・若松河田下車, 徒歩 4 分), 東京女子医大のとなり, 旧税務大学校の跡地

テーマと講師:

(1)「資産運用会社の DEA 評価」

山田善靖 (東京理科大学)

(2)「野球チームの最適なラインナップ選定のための数理的一手法について: 長嶋日本代表監督への一提言」

廣津信義 (国立スポーツ科学センター)

* 終了後に忘年会開催予定

* 第 6 回 (1 月 24 日) あるいは第 7 回 (2 月 14 日)

に, 学生大会を予定しています。発表希望者は篠原までご連絡ください。

問合せ先: 日本大学生産工学部数理情報工学科

篠原正明 Tel.047(474)2672

E-mail: m7sinoha@cit.nihon-u.ac.jp

* 詳しくは, <http://shinohara.su.cit.nihon-u.ac.jp> をご覧ください。

● 他学協会案内

・エネルギーと持続可能な社会のための科学

主 催: 日本学術会議

日 程: 12 月 16 日(火)~19 日(金)

場 所: 三田共用会議所講堂

参加費: 無料 (事前登録制)

* 詳しくは, <http://www.congre.co.jp/ess2003/> をご覧ください。

● 平成 16 年度会費納入のお願い(事務局)

平成 16 年度の会費請求書をお送りいたしましたので, お早めにご送金くださるようお願いいたします。なお, 15 年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくださるよう重ねてお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成 16 年度会費振替は平成 16 年 1 月 20 日(火)になります。振替金額の不足のないよう, 預金残高をご確認いただければ幸いです。

〔預金口座振替ご希望の方へ〕

預金口座振替をご希望の正会員の方は, 学会事務局まで TEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。

学会事務局年末年始休業のお知らせ

平成 15 年 12 月 29 日(月)~平成 16 年 1 月 5 日(月)

[2004年度 洋雑誌ご購入案内]

お申込みは当学会事務局へ (申込締切: 12月末日)

全世界のORに関する文献の Abstracts 専門誌

IAOR を活用しよう

IAOR (International Abstracts in Operations Research) は IFORS (International Federations of Operational Research Societies) が発行している世界のOR関係の論文および単行本の英文アブストラクト誌です。約2400編のアブストラクトが収録されています。カバーされている雑誌は、主要なものだけでも50種を超えています。

内容は、モデル、実施例、理論の3つの部門にわかれ、その中がさらに細かく分類されています。著者索引および非常に便利な項目索引もあって文献を探すのにとても便利です。

2004年購読料 (Vol. 55): 19,000円 (送料込, 年8回, 8冊)

雑誌 EJOR 購読者募集

European Journal of Operational Research (EJOR) は, Association of European Operational Research Societies (EURO) と North Holland 出版社との共同出版によるものです。個人購入もできますが、当学会では、割引価格でお取り扱いしています。

使用言語: 英語

内容: あらゆる分野におけるORに関する優れた論文、連絡事項として、lettersや新刊書(最近1年間のもの)の批評、短評(紹介)。

2004年購読料 (Vol. 152~159):

個人 23,000円 (送料込, 年24回, 8巻, 24冊)

大学 547,000円 (送料込, 年24回, 8巻, 24冊)

APORS の論文誌 “APJOR” へのご投稿とご購入のお願い

APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) は、その Official Journal という性格から、APORS 加盟各国から Associate Editors への参加が求められており、日本OR学会からは、茨木俊秀教授(京都大学)が参加されています。これからも同誌を一層もり立ててゆくため、論文の投稿・雑誌の購読についてご協力をお願いいたします。

雑誌はシンガポールOR学会から貴殿宛直接送られます。

2004年購読料 (Vol. 21): 2,500円

(送料込, 年2回, 2冊, 5月・11月発行)